

高瀬神社 社報

越中一宮



第44号

平成27年1月1日

越中高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影：南部スタジオ



新年明けましておめでとうござい
ます。

平成二十七年の年頭にあたり皇室
の弥栄、国家の隆昌、氏子崇敬者
各位のご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は全国各地で災害が多く発生
した年でありました。地震・噴火・
大雨・大雪など、季節を問わず次々
と発生した様子は、まさに自然とい
う荒ぶる神の怒りにも思えました。
新しい年は未年。「未」は、おとな
しく、人のために尽すといわれます。
これにあやかっつて災害の無い年と
なり、全ての人のとつて良き年となり
ますよう大國主大神様にお祈りしま
した。

災害の無い年というのは最近少な
いようですが、何とか新年を迎えられ
たことは本当にありがたいことです。

私は今年で八十六回目の新年を迎
えることができました。この間、いくつ
もの災害を見たり聞いたり、体験も
してきました。人も九十歳に近づ
くと段々とバケモノになるよう
です。人から冗談まじりにいわれ
ると、敬

われているのか、馬鹿にされてい
るのか、複雑な思いがします。実
際のところ昨年は従兄や友人が
一人また一人と黄泉の国へ旅立
つて行き、淋しさを実感して
おりますが、神様の御元へ近づ
いていと思えば少しは安らぎ
ます。

私が元気に新年を迎えられたとい
うことは、神々が「今年も頑張りな
さい」と元気づけて下さったのだ
と思います。日々、大神様から御
力をいただきます。三百六十五日
を過ごし、反省と感謝を繰り返
しながら生きていくことを幸
せに感じています。春は百花繚
乱の花、夏は青田に力強く

伸びる苗、秋は紅葉や黄金色の穂波、
冬は白銀の山々など、四季の移ろい
は毎年同じようですが、年によつて
どこか異なっているものです。

長く生きていくから尊敬されるこ
ともありますが、肝心なことは年
相応の活躍ではないかと思
います。誰しも同じように廻り来るその年齢
に、大神様から与えられた役目とい
うものがあるはずで、それが何かを
感じとつて、今、自分は何をすべき
なのかを常に意識して、生活して
いる人が再び大神様から御力を
いただいでいでしょうか。老若男女それぞれ
がお互いの立場を尊重し、それ
ぞれの年頃にあつた活躍をして、
お互いを認め合い、助け合い、
心豊かな生活を送ることを考
えて日々過ごしたいものです。

神様を敬い、祖先を崇め、自
分の親や祖父母からの教えを守
りつと、家族のため、社会のため
に尽くすこと、その先頭に私
たち神職が立ち、率先垂範、
一日一日、一年一年を大切に
過ごしたいと思つてい

平成二十七年(乙未)年
皇紀二六七五年

謹賀新年

宮司 藤井秀弘

権宮司 藤井秀嗣

禰宜 河合正登

権禰宜 長谷川宏幸

辻林秀嗣

出仕 魚岸一弥

巫女 藤井友希

今井茉莉奈

山下翔子

小倉南留美

中井直美

中島璃子

安藤崇里子

囑託 岩倉友子

上口友子



奉祝

高円宮

典子女王殿下

出雲大社

千家國曆権宮司

御結婚



大國主大神様をお祀りする出雲大社。同じ御祭神をお祀りする全国の神社が共に手を携え、御神徳の宣揚と斯道の発展の為、平成二十四年十一月七日に「くにたまの会」が発足しました。

平成二十六年十月六日にホテル一畑で催された披露宴に、「くにたまの会」副理事長として当神社 宮司も出席致しました。

心よりお慶び申し上げます。

祭事録

例祭

九月十三日午前十時より、出雲大社 千家國曆権宮司をはじめ、氏子崇敬者約百名参列のものと例祭が斎行されました。



宮司祝詞奏上、神楽「浦安の舞」奉奏の後、女声コーラスグループソフト・ヴォーチェの先導により、「越中一宮高瀬神社奉賛歌」を奉唱し、参列者が玉串を捧げました。

引き続き功霊殿例祭において、井波松風会の六名が「神州（作・乃木希典）」「九段の桜（作・本宮三香）」の吟詠を奉納し、約八十名のご遺族とともに英霊に感謝の誠心を捧げました。



祭事録

献穀田だより 抜穂祭・初穂曳奉仕

九月二十日午前十時より、井波地域中核農業士協議会（吉川順一会長）主催の抜穂祭が、本年奉耕者・農事組合法人ファーム八乙女の献穀田（南砺市沖、約三十平米）にて行われました。



宮司の祝詞奏上に続き齋田が祓い清められ、地元の早乙女五名が、実りに感謝して黄金色のコシヒカリを刈り取りました。

収穫された稲は当神社 新嘗祭にお供えされたほか、十月十七日、伊勢の神宮で斎行された神嘗祭に懸税（カケチカラ）として奉献されました。このお祭りに先立つ十月十五日、献穀田奉耕者のファーム八乙女の皆さんが、外宮に初穂をお供えする初穂曳き行事に参加されました。

早乙女奉仕者

- 武田 瑠美さん（中学生）
- 山田 綾華さん（中学生）
- 亀田 朋佳さん（中学生）
- 澤田 幸奈さん（中学生）
- 中嶋恵里加さん（中学生）



10月15日の「初穂曳」に参加された、ファーム八乙女の皆さん

新嘗祭

十一月二十三日午前十時より新嘗祭が齋行され、氏子崇敬者・農業関係者約七十名が、一年の収穫と五穀豊穡に感謝しました。



献穀田（奉耕者ファーム八乙女・南砺市沖）で収穫された玄米を農事組合法人ファーム八乙女・篠原勇吉代表、白米を井波地域中核農業士協議会・吉川順一会長、白酒を柴田嘉久稲作部長が奉持して神前にお供えしました。

本年は福光農業協同組合・齋田一除代表理事組合長に、幣帛供進使としてご奉仕いただきました。

祭典終了後、長年農業発展の為に寄与された篤農家表彰と、献穀田奉耕者に感謝状が贈呈されました。



玄米を奉持する農事組合法人ファーム八乙女・篠原勇吉代表

【篤農家表彰】

- 白江 利光 殿（砺波市高波）
- 上田 武夫 殿（小矢部市道明）

【献穀田奉耕者】

- 農事組合法人ファーム八乙女（南砺市山見）
- 代表 篠原 勇吉 殿

観月祭

九月六日 午後六時より、仲秋の名月にあわせ「観月祭」が行われました。

当日は神楽舞、雅楽、謡曲のほか、

今年はじめにクリスタルボウルヒーリング演奏、ファイヤーパフォーマン스가奉納され、秋の夜長を楽しみました。



- 【神楽舞】高瀬神社巫女
- 【雅楽・管弦】鳳鳴クラブ
- 【謡曲】高瀬高宝会
- 【クリスタルボウル】ヒーリング演奏

山森啓子さん
HARUKIさん



献茶式

十月二十六日午前十時より、第四十一回献茶式（主催 高瀬神社献茶奉賛会）が行われました。

祭典では表千家流城宝義光氏のお点前で、御神前に濃茶・薄茶が供えられました。



祭典終了後、茶筌塚前で茶筌焼納祭が斎行され、古くなり壊れた茶筌に、感謝の心を捧げました。

【呈茶席】
裏千家流茶道同好会



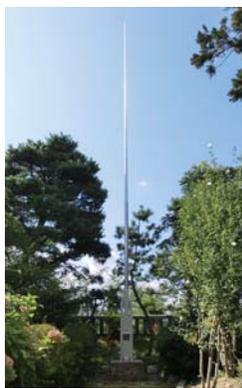
子ども神輿・旗幡掲揚塔修理

村まつりで氏子区域を巡行する「子ども神輿」、春季祭・例祭で掲揚する幟（紅白）の「旗幡掲揚塔」を修理致しました。

子ども神輿



旗幡掲揚塔



祭事暦

《平成二十七年》

一月一日	歳旦祭
一月三日	元始祭
一月七日	昭和天皇祭
一月十五日	天照大神祭
二月三日	節分祭
二月十一日	紀元祭
二月十七日	祈年祭
三月八日	鎮火祭
三月二十一日	春季皇霊祭
四月三日	神武天皇祭
四月十日	春季祭
四月二十九日	祈年穀祭
六月十日	風宮例祭
六月十九日	稲荷社例祭
六月三十日	夏越大祓
七月十九日	人形感謝祭
七月二十二日	除熱祭
八月七日	七夕祭
八月十六日	中秋祭
九月十三日	秋季皇霊祭
九月二十三日	村まつり
十月四日	神嘗奉祝祭
十月十七日	献茶祭
十月吉日	明治節祭
十一月三日	神明宮例祭
十一月十五日	七五三祝祭
十一月二十三日	新嘗祭
十二月十三日	天長節祭
十二月二十三日	師走大祓祭
十二月三十一日	除夜祭

◎毎月一日・十三日 月次祭
◎毎月十三日 交通安全祈願祭

日曜学校

高瀬神社には、ローマ字で書かれた珍しい掲額が奉納されています。この掲額は縦四尺二寸、横六尺二寸と大きなもので、桂の板に金・赤・黒文字で書かれています。文面の殆どはローマ字で記されていますが、英文は一文のみで、他は国語体のローマ字で記されているのが特徴です。

この掲額は明治十九年に「日曜協会」という団体によって奉納されたもので、現在、神社の幣殿に掲げられています。

日曜協会とは、高瀬神社の祠掌能本和彦が中心となって開講した日曜学校のことです。また、日曜学校とは神社やお寺、教会が日曜日などに幼児・児童を集めて行う教育活動のことです。県内ではキリスト教の宣教師と牧師 亀谷凌雲が協力して富山市新庄に開講した日曜学校

がよく知られており、仏教寺院では、浄土真宗各派が力を注いだ結果、大正十二年には、県内で百十七校が開講されていました。

掲額には、日曜協会が能本和彦と高瀬近郷の有志十九名によって組織され、明治十七年九月から十九年八月にかけて毎週日曜日、計八十八回の講習を開き、高瀬神社社務所において、経済・法律・物理・簿記・傍聴筆記・和漢文などの諸学術を学習したことが記されており、当時の様子を知ることができま

す。中心人物だった能本和彦は、金沢の士族で俸禄を離れた後に高瀬神社に招聘されて祠掌となった人物で、和歌・国語・神典などにも通じており、その学識を高瀬周辺の有志に教授しようとしたのだと考えられます。

日曜学校では、幼児・児童を対象に宗教的な情操教育を行います。掲額の文を借りると日

曜協会の目的は、「西洋文明の思想を輸入して我国人智の有様を一新せんとする」ことにあり、宗教的な教育よりも西洋の学問の学習に力を入れていました。

掲額の文面はほぼローマ字で記されており（英文は一文のみ）、国語体で記されています。次頁は、その掲額の文字をローマ字から起こしたものになります。



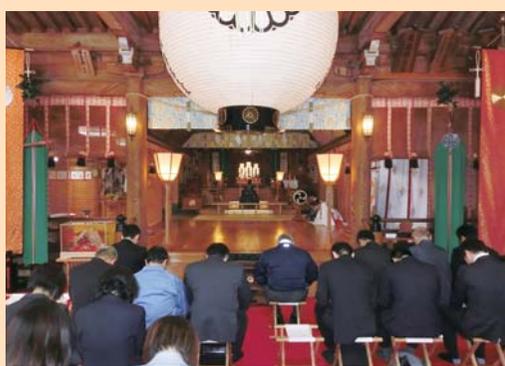
団体参拝のご案内

古来より人と人、心と心を結ぶ福の神・結びの神様でありま

す「大國主命（大國様）」をおまつりする当神社では、会社の参拝（安全祈願・創業記念日・入社奉告）、必勝祈願（スポーツ・受験）、同窓会記念参拝等の各種祈願を受け付けております。

お問い合わせは社務所へお願いします。

電話 〇七六三（八二）〇九三三



日曜協会の故由を、板に記して、広前に捧ぐる、それが端に

高瀬の神社 祠掌 のもとにきひこ 能本和彦

思うどち 立てし功も いさお 労も いたずき 記して代々に 残すこの文

日曜協会は明治十七年九月第一日曜を以て始まり、十九年八月 だいしにちよう 第四日曜を以て終わりました。その目的と致しましたは、西洋文明の思想を輸入して我国人智の有様を一新せんとするにありました。その会日は、毎日曜日でありました。その会場は高瀬神社の社務所でありました。その会を重ねましたは八十八度でありました。その講習致しましたる課業は、経済・法律・物理・簿記・傍聴筆記及び和漢文学等の諸学術でありました。

諺にも“Stlike (strikeの誤か) a flint, and you'll get fire:stlike it not, and you'll not get even smoke” (火打石を打ちなさい。そうすれば火を得られます。火打石を打たなかつたら、煙さえ得ることは出来ないでしょう。)と申します。日曜協会は会員諸君の脳漿を刺激して、その人智をして発動の機会を得せしめましたに過ぎませぬ。然り乍ら他日烈々腹に燃ゆるの火も こんじつ 今日の小さなる火花に基づくかもしれませぬ。果して左様御座りますれば、本会の骨折しも全く無益とは相成りませぬ。故に私はこれを以て諸君に望みまた自ら努めようと存じます。

タケベ M,記す

明治十九年

創立会員及び会員の姓名

ダイモン ワヘイ イマイ タツドー イシオカ ヨソタロー
 カワベ ヒサヨシ ノムラ グロベイ S.K.タケベ トキアヤ
 フカミ キンジュロー イノウチ サイジロー カナダ トヨキチ
 ミナミ ソーイチロー サワザキ ヤエモン ワカスギ タエモン
 イマイ カイチロー イシオカ シチクロー S.K.カワベ キュージ
 ナカガワ トクタロー S.K.タケベ マサタダ ヤシキ ジュンザブロー

※振り仮名は、ローマ字の読みに倣った。

括弧内の表記は注記したもの。

「創立会員及び会員の姓名」にある「S.K」は創立会員の意。また、氏名表記について、一部漢字表記が判明した方もいたが、不明の方もいたこと等を考え、片仮名で統一した。本文は、『砺波教育八十年史』『富山大百科事典』などを参考にした。(魚岸一弥 記)



新ガイドブック
一〇〇〇円



ガイドブック
一〇〇〇円



御朱印帳(小)
一〇〇〇円



御朱印帳(大)
三〇〇〇円

「一の宮」は全国に約一〇〇社あります。平安時代、各地域で古くから崇敬を集め、神位も高く、由緒正しき神社が「一の宮」として定められました。「御朱印」はこのような神社を参拝し、各神社にお祀りされている大神様の御神徳をいただく為のものです。時間をかけて自分流に全国の「一の宮」を巡ってみてはいかがでしょうか。

「全国の宮めぐり」を
つなませませんか？

杜のにぎわい

剣道大会

九月十五日敬老の日、「第十二回奉納剣道大会」が開催され、南砺・砺波・小矢部の小中高校生約二〇〇名が熱戦を繰り広げました。

当日は爽やかな秋晴れの下、日本剣道形の奉納に続いて、団体戦と個人戦で鍛錬の成果を競いました。

試合結果は次の通りです。

《団体の部》—敬称略—

▽小学生男・女

- ①井波剣道スポーツ少年団
- ②庄川剣道スポーツ少年団

▽中学生男子

- ①井波中学校
- ②庄西中学校
- ③出町中学校

▽中学生女子

- ①津沢中学校
- ②庄西中学校

《個人の部》

▽小学生男子

- ①幸山 大 (井波)
- ②板戸 基樹 (庄川)
- ③神田 涼汰 (井波)
- 篠原 一星 (井波)



▽小学生女子

- ①齊藤 未来 (砺波)
- ②横川陽夏羽 (砺波)
- ③五十嵐理歩 (砺波)
- 瀧口 美和 (晴武館)

▽中学生男子

- ①杉森 佑紀 (井波)
- ②山本 泰斗 (庄川)
- ③武田 将征 (井波)
- 藤永 勝 (庄川)

▽中学生女子

- ①松川 瑞穂 (井波)
- ②近藤 悠月 (庄川)
- ③三輪すずな (津沢)
- 小西 芽衣 (津沢)

▽高校生男子

- ①篠原 風斗 (南砺福野)
- ②藤井 駿 (南砺福野)
- ③松井 弘樹 (砺波工業)
- 中田 知徳 (砺波)

▽高校生女子

- ①野原 果鈴 (南砺福野)
- ②神保 春菜 (南砺福野)
- ③山本 優奈 (南砺福野)
- 圓山 美郷 (南砺福野)



里芋おはぎ茶会

十一月三十日、井波茶道同好会の「第十八回里芋おはぎ茶会」が行われ、約三百名が粘り気たっぷりのおはぎと、心尽くしの一服を味わいました。

竹部宗慧さん、横山宗美さんが本席（薄茶席）、箭原静潤さんが副席（煎茶席）を務め、高瀬遺跡保存協会（久田久伸会長）が協力されました。

本席の床には心田和尚の軸「今日無事」が掛けられました。



全国一の宮会総会

九月十日、伊勢の神宮にて「全国一の宮会総会」が開催されました。

本年は皇大神宮（内宮）参拝の後、参集殿にて新木直人会長（賀茂御祖神社宮司）を議長に、議事が進められました。

続いて「一の宮巡拝を終えて」と題して、一般財団法人敬愛まちづくり財団理事長堀秀也様、「日本の古来の美」と題して、株式会社社勢乃國屋相談役山中隆雄様より、記念講演が行われました。



平成27年 厄年・身祝一覧

〔厄年〕 数え年

	前 厄		本 厄		後 厄	
男	24歳	平成4年(申)	25歳	平成3年(未)	26歳	平成2年(午)
	41歳	昭和50年(卯)	42歳	昭和49年(寅)	43歳	昭和48年(丑)
			61歳	昭和30年(未)		
女	18歳	平成10年(寅)	19歳	平成9年(丑)	20歳	平成8年(子)
	32歳	昭和59年(子)	33歳	昭和58年(亥)	34歳	昭和57年(戌)
			37歳	昭和54年(未)		

※数え年とは、満年齢に誕生日前には2歳、誕生日後には1歳を加えた年齢です。

〔身祝〕 数え年

	年齢	生まれ年
還暦	61歳	昭和30年(未)
古希	70歳	昭和21年(戌)
喜寿	77歳	昭和14年(卯)
傘寿	80歳	昭和11年(子)
米寿	88歳	昭和3年(辰)
卒寿	90歳	大正15年(寅) 昭和元年(寅)
白寿	99歳	大正6年(巳)

※男女ともに祝います。

ご案内

戌の日 (安産祈願)

1月10・22日 7月 9・21日
 2月 3・15・27日 8月 2・14・26日
 3月11・23日 9月 7・19日
 4月 4・16・28日 10月 1・13・25日
 5月10・22日 11月 6・18・30日
 6月 3・15・27日 12月12・24日

腹帯のお祓いも行いますのでご持参下さい。



同窓会や里帰りに合わせ、同級生との「厄祓」を受け付けております。
 年頭にあたり、ご友人とお揃いでご祈禱をお受け下さい。
 期 間 二月三日節分まで
 午前九時から
 午後四時三十分まで
 折禱料 五千円よりご志納願います。

同級生と厄祓

奉納

- 「初穂米」
氏子
岩倉 勲殿
十月一日
高岡市今市
堅田 正明殿
十月十一日
岐阜県関市
小石 達人殿
十月十七日
- 「神饌米」
南砺市
井波地域中核農業士協議会殿
南砺市山見
農事組合法人
ファーム八乙女殿
氏子
岩倉 和弘殿
十一月二十三日
- 「干支(未) 水彩画」
小矢部市鴨島
森川外茂男殿
十二月十七日
- 「大注連縄」五張
高瀬神社注連縄奉納講
(有)アド・インシユアランス殿、
(有)石森石材殿、魚敬丈殿、浦

〔表紙写真〕
干支(未)大絵馬と
大谷美術学園の皆さん

- 「干支(未) 大絵馬」
南砺市山下
南部 栄殿
富山市古鍛冶町
大谷美術学園
園長 大谷 弓子殿
十二月二十三日
- 田則子殿、海老清則殿、大越
工芸品製造(株)殿、鏡恵美子殿、
(株)柿里殿、加藤美術殿、クリッ
クス商事(株)殿、佐伯松夫殿、
サクラ交通(株)殿、島川製鉛(株)
殿、新川宣伝事務所殿、(株)大
景殿、(株)大智殿、(有)高崎日吉
堂殿、(株)竹下工業殿、東洋通
信工業(株)殿、(有)中村製作所殿、
(株)ニッポー殿、(株)日吉プラン
ナー殿、ブライダルコアあな
だ殿、ブライダルハウスこと
ぶき殿、(有)丸栄運輸殿、(株)丸
伸製作所殿、(株)ミッシェロー
ゼ殿、メッセージ殿、渡辺美
術殿
十二月二十日

幸せになるための結婚式



この地で二千年の歴史をもつ越中一宮 高瀬神社は、
おおくにぬしのみこと
縁結びの神様 大国主命をまつる神社として多くの
神前挙式を執り行い、お二人の幸福を願ってきました。

さんこん さんさんくど
三献の儀～三三九度の盃～

過去・現在・未来、三つの盃を飲み交わす事で、
お二人、そしてご両家の絆がより強く結ばれます。

一日一組限定の

新バンケットホール OPEN!!

縁結びの神様に誓う伝統の結婚式を挙げていただく、
一生に一度の日だからこそ、一日一組のカップルの為だけに、
このバンケットは生まれました。



新バンケットホールでのご結婚披露宴のご予約を承っております。
お気軽にお問い合わせ、ご相談いただけますよう、お待ちしております。

只今
御予約
受付中

あなたの人生に、神社がある。越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社



検索

発行日 平成二十七年一月一日

発行所 越中一宮 高瀬神社社務所

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291

TEL(0763)8210932 FAX(0763)8213204

編集人 長谷川宏幸

印刷所 牧印刷株式会社